



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月30日

上場会社名 株式会社高速 上場取引所 東
 コード番号 7504 URL <https://www.kohsoku.com>
 代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）赫 裕規
 問合せ先責任者 （役職名）取締役 常務執行役員 社長室長 （氏名）三田村 崇 TEL 022-259-1611
 半期報告書提出予定日 2026年11月13日 配当支払開始予定日 2026年12月4日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	69,920	13.7	3,255	30.5	3,441	28.9	2,388	31.8
2026年3月期中間期	61,501	11.8	2,493	8.9	2,669	9.2	1,812	8.3

（注）包括利益 2027年3月期中間期 2,637百万円（25.1％） 2026年3月期中間期 2,108百万円（21.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	122.52	—
2026年3月期中間期	92.93	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	66,454	42,898	64.6
2026年3月期	63,178	42,516	67.3

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 42,898百万円 2026年3月期 42,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	58.00	—	58.00	116.00
2027年3月期	—	60.00			
2027年3月期（予想）			—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期の中間配当金の内訳 普通配当 28円 記念配当 30円（創立60周年記念配当）

2026年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 28円 記念配当 30円（創立60周年記念配当）

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	8.7	5,100	4.8	5,450	4.0	4,000	6.3	204.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社の2027年3月期の通期の業績予想につきまして、売上高及び各利益項目のいずれにおいても上振れが想定されます。しかし、中東情勢に伴う原油由来の原材料価格や燃料費の先行き不透明感などを勘案すると、業績予想の修正が必須とされている水準までの差異が発生するとは現時点ではいえず、合理的な業績予想修正が困難であるため、現時点では業績予想の修正を行わないことといたしました。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期中間期	20,990,920株	2026年3月期	20,990,920株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	1,656,587株	2026年3月期	1,437,424株
③ 期中平均株式数(中間期)	2027年3月期中間期	19,490,849株	2026年3月期中間期	19,502,480株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
3. 補足情報	11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、地政学的リスクの継続を背景とした原材料価格やエネルギーコストの高止まりに加え、為替相場の変動による輸入物価への影響がみられ、物価上昇圧力が依然として残る状況となりました。こうした中、中東情勢が緊迫化し、経済動向の不確実性への警戒感も高まったことから、先行きについては引き続き不透明感が強まる状況で推移しました。

当社グループの主要顧客においては、コロナ禍後に回復した観光需要により堅調な業種がある一方、総じて多くの業種において、人手不足や急激な物価高騰への対応が課題となっており、当社を取り巻く経営環境も大変厳しいものとなっております。

このような環境のなか、当社グループでは2026年4月からスタートさせた中長期経営計画において、中長期ビジョン「高速ファンづくり チャレンジ 2035 to be a good company」を掲げ、「食の流通を支える」、「食の安全安心に貢献する」さらに「買い物の楽しさや食品のおいしさを演出する」という当社の社会的役割を果たしながら、お客様への商品の安定供給、企画の提案や情報提供を継続してまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間での業績は売上高699億20百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益32億55百万円(同30.5%増)、経常利益34億41百万円(同28.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益23億88百万円(同31.8%増)となりました。

通期業績予想に対する進捗率は、売上高51.7%、営業利益63.8%、経常利益63.1%、純利益59.7%と、12期連続過去最高売上高、9期連続過去最高営業利益・経常利益、6期連続純利益過去最高益達成に向け順調に推移していると判断しております。

当社グループは、「包装資材等製造販売事業」の単一セグメントであるためセグメント情報は記載しておりません。また、実質的に単一事業のため、事業部門別等の記載も省略しております。

なお、当第２四半期連結会計期間（2026年7月～9月）における連結損益の主要項目は、下記のとおりとなっております。

	前第２四半期連結会計期間 (自 2025年7月 1日 至 2025年9月30日)	当第２四半期連結会計期間 (自 2026年7月 1日 至 2026年9月30日)	対前年比率
区分	金額（千円）	金額（千円）	(%)
売上高	30,944,388	36,169,069	116.9
売上原価	24,787,422	28,398,849	114.6
売上総利益	6,156,965	7,770,220	126.2
販売費及び一般管理費	4,773,699	6,085,129	127.5
営業利益	1,383,265	1,685,090	121.8
営業外収益	117,397	122,777	104.6
営業外費用	32,648	48,617	148.9
経常利益	1,468,014	1,759,251	119.8
特別利益	—	586	—
特別損失	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	1,468,014	1,759,838	119.9
法人税等	463,097	582,582	125.8
四半期純利益	1,004,917	1,177,255	117.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,004,917	1,177,255	117.1

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 中間連結貸借対照表に関する分析

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ32億75百万円増加し、664億54百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産25億26百万円増加、商品及び製品13億52百万円増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ28億93百万円増加し、235億56百万円となりました。これは主に、電子記録債務8億12百万円増加、短期借入金15億円増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億81百万円増加し、428億98百万円となりました。これは主に、自己株式13億円増加による純資産の減少、利益剰余金12億54百万円増加、その他有価証券評価差額金2億47百万円増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間におきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の減少は14億6百万円となり、当中間連結会計期間末の資金は32億10百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、前中間連結会計期間が19億19百万円であったのに対して、当中間連結会計期間は2億13百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、前中間連結会計期間が30億14百万円であったのに対して、当中間連結会計期間は5億57百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、前中間連結会計期間が5億84百万円であったのに対して、当中間連結会計期間は10億62百万円となりました。

中間連結会計期間での主要なキャッシュ・フロー指標は、次のとおりとなっております。

	2025年9月期	2026年9月期	2026年3月期
時価ベースの自己資本比率 （株式時価総額／総資産）（％）	90.27	132.23	96.87
インタレスト・カバレッジ・レシオ （営業キャッシュ・フロー／利払い）（倍）	6,665.32	30.55	1,011.73
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 （有利子負債／営業キャッシュ・フロー）（％）※	—	350.62	—
自己資本比率（自己資本／総資本）（％）	65.58	64.55	67.30

※ 2025年9月期及び2026年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率につきましては、有利子負債がないため、記載しておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期においては、中東情勢の緊迫化に伴う原料価格や燃料費高騰によるコスト増加が懸念されており、連結業績予想ではその影響を一定織り込んでおります。ただし、今後の動向次第で当想定は大きく変動する可能性がありますので、今後の業績動向を踏まえ、当予想の修正が必要となる場合には、速やかに開示いたします。

＜進捗に関して＞

当社の2027年3月期第2四半期の業績は、売上高及び各利益項目ともに前年同期を上回り、営業利益・経常利益面では前年同期比約130%と堅調に推移いたしました。業績予想に対する進捗としても、2027年3月期第2四半期の進捗は、上期（第2四半期累計期間）業績予想に対する営業利益の進捗率で125.2%、通期業績予想に対しても営業利益の進捗率63.8%に達しており、当社の四半期売上高は第3四半期の比率が高いことも踏まえると、順調な進捗となっております。

＜業績予想を据え置く理由について＞

上記のとおり、2027年3月期の通期の業績予想につきまして、売上高及び各利益項目のいずれにおいても上振れが想定されます。しかし、中東情勢に伴う原油由来の原材料価格や燃料費の先行き不透明感などを勘案すると、業績予想の修正が必須とされている水準（売上高の業績予想比1.1倍以上、連結営業利益にあっては1.3倍以上、連結経常利益1.3倍以上、親会社株主に帰属する当期純利益1.3倍以上）までの差異が発生するとは現時点ではいえず、合理的な業績予想修正が困難であるため、現時点では業績予想の修正を行わないことといたしました。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,678,881	3,272,464
受取手形、売掛金及び契約資産	18,020,780	20,547,376
商品及び製品	6,915,729	8,268,126
仕掛品	118,435	111,004
原材料及び貯蔵品	195,690	237,573
未収還付法人税等	14,789	—
その他	840,828	680,884
貸倒引当金	△58,814	△50,087
流動資産合計	30,726,319	33,067,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,576,393	6,565,333
土地	14,552,075	14,451,342
その他（純額）	3,211,653	4,041,002
有形固定資産合計	24,340,122	25,057,678
無形固定資産		
その他	470,297	440,396
無形固定資産合計	470,297	440,396
投資その他の資産		
投資有価証券	6,142,603	6,523,852
退職給付に係る資産	116,687	120,712
投資不動産（純額）	253,726	171,481
繰延税金資産	767,810	700,101
その他	426,534	454,945
貸倒引当金	△65,190	△82,012
投資その他の資産合計	7,642,171	7,889,082
固定資産合計	32,452,591	33,387,156
資産合計	63,178,911	66,454,499

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,011,461	8,987,263
電子記録債務	4,275,612	5,088,228
短期借入金	—	1,500,000
未払法人税等	1,072,076	1,294,740
賞与引当金	1,800,070	1,703,165
その他	2,603,032	2,951,272
流動負債合計	18,762,254	21,524,670
固定負債		
長期未払金	10,810	31,882
リース債務	352,232	368,637
繰延税金負債	574,786	624,712
退職給付に係る負債	839,456	876,291
その他	122,943	130,275
固定負債合計	1,900,229	2,031,798
負債合計	20,662,483	23,556,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,724,518	1,724,518
資本剰余金	2,193,736	2,372,282
利益剰余金	38,571,351	39,825,442
自己株式	△1,173,049	△2,473,664
株主資本合計	41,316,556	41,448,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,194,641	1,442,556
退職給付に係る調整累計額	5,229	6,895
その他の包括利益累計額合計	1,199,871	1,449,451
純資産合計	42,516,428	42,898,030
負債純資産合計	63,178,911	66,454,499

(２) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年9月30日)
売上高	61,501,759	69,920,268
売上原価	49,281,084	55,255,765
売上総利益	12,220,674	14,664,502
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,564,681	1,758,078
役員報酬	153,925	196,764
給料及び手当	3,075,730	3,372,311
賞与引当金繰入額	1,049,259	1,253,332
退職給付費用	77,157	84,105
法定福利費	652,864	717,426
車両費	178,133	177,128
通信費	173,901	180,152
減価償却費	347,227	376,993
不動産賃借料	345,813	453,614
その他	2,108,186	2,839,083
販売費及び一般管理費合計	9,726,881	11,408,991
営業利益	2,493,793	3,255,510
営業外収益		
受取利息	32,957	29,351
受取配当金	25,498	28,903
仕入割引	76,232	84,793
受取賃貸料	57,215	93,669
その他	23,009	34,980
営業外収益合計	214,913	271,697
営業外費用		
支払利息	288	7,002
賃貸収入原価	13,826	25,907
連結子会社損失	—	38,719
その他	24,639	14,218
営業外費用合計	38,754	85,848
経常利益	2,669,952	3,441,360
特別利益		
固定資産売却益	—	153,610
特別利益合計	—	153,610
税金等調整前中間純利益	2,669,952	3,594,971
法人税等	857,570	1,206,777
中間純利益	1,812,382	2,388,193
親会社株主に帰属する中間純利益	1,812,382	2,388,193

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年4月 1日 至 2026年9月30日）
中間純利益	1,812,382	2,388,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	294,241	247,914
退職給付に係る調整額	1,731	1,665
その他の包括利益合計	295,972	249,580
中間包括利益	2,108,354	2,637,773
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,108,354	2,637,773

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,669,952	3,594,971
減価償却費	515,858	559,413
賞与引当金の増減額（△は減少）	32,692	△96,904
長期未払金の増減額（△は減少）	—	21,072
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,868	8,094
その他の引当金の増減額（△は減少）	17,199	19,355
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	21,864	35,240
受取利息及び受取配当金	△58,456	△58,255
支払利息	288	7,002
有形固定資産除却損	973	—
有形固定資産売却損益（△は益）	△305	△153,610
売上債権の増減額（△は増加）	△546,727	△2,526,596
棚卸資産の増減額（△は増加）	20,575	△1,386,849
仕入債務の増減額（△は減少）	187,119	788,417
未払消費税等の増減額（△は減少）	84,042	△128,419
その他の資産の増減額（△は増加）	△65,593	△33,122
その他の負債の増減額（△は減少）	△228,992	488,253
小計	2,655,359	1,138,063
利息及び配当金の受取額	59,648	59,447
利息の支払額	△288	△7,002
法人税等の支払額	△795,020	△991,457
法人税等の還付額	—	14,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,919,699	213,908

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,150,551	△1,169,558
有形固定資産の売却による収入	305	337,161
無形固定資産の取得による支出	△51,374	△112,004
投資有価証券の取得による支出	△12,408	△13,120
投資有価証券の償還による収入	200,000	400,000
貸付金の回収による収入	—	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,014,029	△557,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△57,619	△80,320
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	1,500,000
自己株式の取得による支出	△275	△1,349,851
配当金の支払額	△526,163	△1,132,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584,058	△1,062,903
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,678,387	△1,406,416
現金及び現金同等物の期首残高	8,116,855	4,616,952
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,438,468	3,210,536

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）及び当中間連結会計期間（自2026年4月1日 至2026年9月30日）

当社グループは「包装資材等製造販売事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

３．補足情報

販売実績

当社グループは「包装資材等製造販売事業」の単一セグメントであります。

参考情報としまして、当中間連結会計期間における販売実績を商品グループ別に示すと、次のとおりであります。

なお、当社グループにおける商品分類は、下記のとおりとなっております。

区分	商品
食品容器	トレイ、弁当容器、フードパック、折箱、魚函、インジェクション容器 他
フィルム・袋・ラミネート	ラップ、レジ袋、ストレッチフィルム、ラミネートフィルム 他
紙箱・紙製品・ラベル・段ボール	箱、印刷紙器、包装紙、紙袋、シール、ラベル、記録紙、チラシ、コピー用紙、段ボール 他
消耗品	タオル、カウンスクロス、おしぼり、テープ類、PPバンド、緩衝材、吸水紙、ディスプレイ用品、手袋、事務用品、洗剤、衛生消耗品、割箸、バラン、リサイクルトナー 他
什器備品・機械その他	包装機、食品加工機、物流機械、厨房備品、店舗関連備品、コンテナ、台車、パレット、食品、工事費、保守契約、デザイン、トレイ原反、原紙、プラスチック原料、 他

区分	前中間連結会計期間 金額（千円）	当中間連結会計期間 金額（千円）	前年同期比 （％）
食品容器	25,706,304	28,785,433	112.0
フィルム・袋・ラミネート	12,745,273	15,690,302	123.1
紙箱・紙製品・ラベル・段ボール	9,451,305	10,436,275	110.4
消耗品	9,461,400	10,486,709	110.8
什器備品・機械その他	4,137,475	4,521,546	109.3
合計	61,501,759	69,920,268	113.7

（注） 当連結会計年度より、商品分類の名称及び区分の見直しを行って表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の金額は、見直し後の名称及び区分に組替えて表示しております。